

## 施策評価シート

施策の概要(PLAN)		担当部局長	都市政策部長
総合計画の政策名	コンパクトで居心地のよいまちづくり		
基本施策名	5-1 住環境	取りまとめ	まちづくり政策課
めざす姿	住みやすさと優しさを次世代へと引継ぐまち コンパクトなまちの特性を活かし、駅周辺を中心に利便性の高い都市機能が集約された市街地整備が進むとともに、地域において魅力あるまちづくりが進められています。また、暮らしやすさとこちよさ、安全性を兼ね備えた人に優しいまちとなっています。		
施策の展開方向	① 便利な暮らしを支えるまちづくりの推進 ② 良好な市街地の整備 ③ 安全・安心な住まいづくりの推進 ④ 市民参加によるまちづくりの推進		

## 施策の成果指標と実績(DO)

成果指標	項目	単位	総合計画記載 (現状値)	27年度	28年度	29年度	30年度	総合計画記載 31年度
①	良好な住環境が整っていると感じている市民の割合	目標	(市民満足度調査)	—	—	(市民満足度調査)	—	75
		実績		70.8	—	—	71.4	—
②	住宅の耐震化率	目標		—	—	—	—	90
		実績		69	69	81		
③		目標						
		実績						
④		目標						
		実績						
⑤		目標						
		実績						

施策内事業の集計	項目	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
事業費	千円	17,802	32,832	53,028				
人件費	千円	39,524	39,661	39,931				

## 施策の成果について(CHECK)

成果	目標達成度合(評価)	C 概ね順調	理由
成果			総合計画に即した都市マスの改定作業の開始や安全安心で快適な住まいづくりのため耐震改修補助や定住促進リフォーム助成が実施できたことなどにより、左の評価とした。 ◆「景観人の集い」の事務局として、市内3中学校の協力のもと連立高架下壁面(山側)に絵を描き、景観形成に寄与できた。 ◆浜街道まつり実行委員会に協力し、H28年度も盛大に「浜街道まつり」を開催することができた。 ◆耐震改修補助金交付件数として、診断13件、設計1件、改修3件の実績があった。 ◆定住促進リフォーム助成金交付件数として、53件の実績があった。 ◆三世同居等促進住宅リフォーム助成交付件数として、1件の実績があった。
課題			◆都市計画の変更が必要となる場合は、私的権利に影響を及ぼすことから、いかに住民の理解を得るかが難しい。 ◆市営住宅の老朽化対策が急務となっていることから、現行の泉大津市公営住宅等長寿命化計画が現状と乖離していることもあり、新たな計画の策定が必要である。 ◆市民等からの通報による老朽危険空き家等の空き家対策は行っているが、市内全域の空き家の実態が把握できていない。 ◆耐震改修については個人の負担が大きいこともあり、あまり進まない状況がある。

## 今後の施策の方向性(ACTION)

今後の施策の方向性	◆今後必要な都市計画の変更がスムーズに図れるよう、変更の根拠となり得る都市計画マスタープランを策定する。 ◆良好な市街地の形成に向け、「景観人の集い」等の団体と協力し、市民参加による形で各種事業を継続して推進する。 ◆あき家等について現状把握及び利活用を踏まえた対策計画を策定する。 ◆耐震改修補助等を継続して実施することにより、安全安心で快適な住まいづくりを促進する。 ◆市営住宅の老朽化対策や健全な住宅供給に向け計画的な改修に取り組むためにも泉大津市住宅マスタープランを策定する。
-----------	--

# 事務事業評価結果一覧

総合計画の政策名		コンパクトで居心地のよいまちづくり						
基本施策名		5-1 住環境						
	担当課	事業名	総コスト (千円)	事業費 (千円)	人件費 (千円)	事務事業評価結果		
1	まちづくり政策課	地域計画事業	9,772	4,849	4,923	A	現行どおり	
2	まちづくり政策課	景観形成誘導事業	1,708	67	1,641	A	現行どおり	
3	まちづくり政策課	まちづくり運営事業	1,111	17	1,094	A	現行どおり	
4	まちづくり政策課	まちづくり事務所維持管理事業	1,703	609	1,094	B	要改善	
5	まちづくり政策課	まちづくり啓発事業	1,358	264	1,094	A	現行どおり	
6	まちづくり政策課	都市計画マスタープラン進行管理 事業	0	0	0	A	現行どおり	
7	まちづくり政策課	住居表示整備事業	2,992	257	2,735	B	要改善	
8	まちづくり政策課	市営住宅維持管理事業	14,136	5,931	8,205	A	現行どおり	
9	まちづくり政策課	福祉型住宅施策推進事業	6,484	3,749	2,735	D	休止・廃止	
10	まちづくり政策課	市営住宅施設整備事業	40,527	32,322	8,205	A	現行どおり	
11	まちづくり政策課	定住促進住宅リフォーム助成事業	13,168	4,963	8,205	A	現行どおり	
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
合計			92,959	53,028	39,931			
事務事業の方向性	A 現行どおり	8 本	B 要改善	2 本	C 縮小	0 本	D 休止・廃止	1 本

## 施策評価シート

施策の概要(PLAN)		担当部局長	総合政策部長
総合計画の政策名	コンパクトで居心地のよいまちづくり		
基本施策名	5-2 臨海部	取りまとめ	地域経済課
めざす姿	人・もの・情報が集まる、美しい港があるまち 企業誘致により、新たな雇用が創出され、人・もの・情報の集まる拠点となっています。また、大阪市内や空港からのアクセスの良さに加え、緑地整備やイベント等によって、賑わい・活気のあるエリアとして多くの市民が訪れ、親しまれる港があるまちとなっています。		
施策の展開方向	①新たな企業の誘致 ②雇用機会の拡大 ③港湾の利活用の促進 ④市民に親しまれる港湾づくり		

### 施策の成果指標と実績(DO)

		単位	総合計画記載 (現状値)	27年度	28年度	29年度	30年度	総合計画記載 31年度
成果指標	① 港湾部は、賑わいや活気があり、魅力的な場所だと感じている市民の割合	目標	% (市民満足度調査)	—	—	(市民満足度調査)	—	45
		実績	%	37.8	—	—	37.4	—
	② 港湾部誘致企業による市民雇用者数	目標	人	—	—	—	—	275
		実績	人	249	244	226		
	③ 企業誘致件数	目標	件	—	—	—	—	16
		実績	件	12	13	13		
	④ 泉大津港への入港実績(純t数)	目標	千t	—	—	—	—	3,490
		実績	千t	3,264	4,265	3,810		
	⑤	目標						
		実績						

施策内事業の集計		単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総コスト計		千円	5,680	8,546	3,429			
事業費		千円	3,526	6,392	1,788			
人件費		千円	2,154	2,154	1,641			

### 施策の成果について(CHECK)

成果	目標達成度合 (評価)	C 概ね順調	理由
成果			バリア・ブンタウ省をはじめとするベトナムとのビジネス・マッチングなどトップセールスが順調に進捗していることから、左の評価とした。 ◆港湾の利活用の促進を図るため、本市と「経済協力に関する覚書」を交わしているベトナムのバリア・ブンタウ省を中心とする地域と本市繊維関係事業者とのビジネス・マッチングを行ったほか、将来の中古車輸入の解禁の可能性を見越したオーストラリアへのトップセールスを展開した。
課題			◆フェニックス地区など臨海部への企業誘致については、大阪府港湾局がその所管となる。 ◆市民に親しまれる港湾づくりという点においては、マリーナなどの資源を有効に活用しきれていない。

### 今後の施策の方向性(ACTION)

今後の施策の方向性	◆フェニックス地区など臨海部は、本市にとって大きな可能性を秘めた土地であり、市内の雇用機会の拡大にもつながる新たな企業の誘致に大阪府港湾局と協力しながら引き続き努めるとともに、港湾の利活用の促進に資するようなトップセールスを積極的に展開する。 ◆市民が憩い集えるような親しまれる港湾づくりのためのイベント等の開催を促進する。
-----------	---

# 事務事業評価結果一覧

総合計画の政策名		コンパクトで居心地のよいまちづくり						
基本施策名		5-2 臨海部						
	担当課	事業名	総コスト (千円)	事業費 (千円)	人件費 (千円)	事務事業評価結果		
1	地域経済課	港湾振興対策事業	3,429	1,788	1,641	A	現行どおり	
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
合計			3,429	1,788	1,641			
事務事業の方向性	A 現行どおり	1 本	B 要改善	0 本	C 縮小	0 本	D 休止・廃止	0 本

## 施策評価シート

施策の概要(PLAN)		担当部局長	都市政策部長
総合計画の政策名	コンパクトで居心地のよいまちづくり		
基本施策名	5-3 環境保全	取りまとめ	環境課
めざす姿	身近な環境を守り未来につながるまち		
	川や大気などの身近な環境がきれいに保たれるとともに、ごみの再利用等が進むことにより、ごみの量が減り、快適に暮らせるまちになっています。また、太陽光発電などの再生可能エネルギーが広く普及し、かつ一人ひとりが温室効果ガスの削減を意識した行動をとることで、持続可能な環境にやさしいまちになっています。		
施策の展開方向	①公害防止対策の推進 ②ごみの減量化の推進 ③まちなみ・景観美化の推進 ④地球環境の保全		

### 施策の成果指標と実績(DO)

		単位	総合計画記載 (現状値)	27年度	28年度	29年度	30年度	総合計画記載 31年度
成果指標	① エネルギー・地球温暖化問題に関心を持っている市民の割合	目標	% (市民満足度調査)	—	—	(市民満足度調査)	—	80
		実績	%	73.2	—	—	66.5	—
	② まちのきれいさや騒音の少なさなど、身の回りの環境に満足している市民の割合	目標	% (市民満足度調査)	—	—	(市民満足度調査)	—	75
		実績	%	64.4	—	—	66.4	—
	③ 市民1人1日あたりのごみ排出量	目標	g	—	—	—	—	893
		実績	g	951	956	957		
	④ 住宅用太陽光発電システム導入件数	目標	件	—	—	—	—	930
		実績	件	600	835	885		
	⑤	目標						
		実績						

施策内事業の集計	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総コスト計	千円	605,831	612,214	611,848			
事業費	千円	549,070	555,974	557,215			
人件費	千円	56,761	56,240	54,633			

### 施策の成果について(CHECK)

成果	目標達成度合 (評価)	C 概ね順調	理由
			市民1人1日当たりのごみ排出量は増加しているが、太陽光発電システムの導入は順調であり、左の評価とした。
	◆市民1人1日当たりのごみ排出量が増加しているのは、事業所のごみが増えたためであり、家庭から排出されるごみは減少している。 ◆事業所のごみが増えてきたのは、市内の経済活動が良くなってきたためと考えられる。 ◆太陽光発電システム等の導入については順調に増加しており、再生可能エネルギーの普及は進んでいる。		
課題	◆太陽光発電システム導入に対する国の固定価格買取制度の買取価格が下がってきており、設置数が伸び悩み始めている。 ◆温室効果ガス削減に向けた意識啓発を進めていく必要がある。		

### 今後の施策の方向性(ACTION)

今後の施策の方向性	◆ごみの減量について事業所への分別啓発を進め、可燃ごみ量を減らす必要がある。 ◆地球環境の保全や二酸化炭素排出量削減に向けた啓発を今後も継続して行う。併せて太陽光発電や高効率給湯器の助成金制度の周知に努め、導入をすすめる。 ◆大気・水質等の公害対策については継続して事業所に対する指導を行う。
-----------	--

# 事務事業評価結果一覧

総合計画の政策名		コンパクトで居心地のよいまちづくり						
基本施策名		5-3 環境保全						
	担当課	事業名	総コスト (千円)	事業費 (千円)	人件費 (千円)	事務事業評価結果		
1	環境課	公害測定事業	13,032	1,545	11,487	A	現行どおり	
2	環境課	環境保全対策事務事業	2,338	13	2,325	A	現行どおり	
3	環境課	不法広告物撤去事業	3,542	1,046	2,496	A	現行どおり	
4	環境課	団体等育成支援事業	3,195	1,041	2,154	A	現行どおり	
5	環境課	中央公衆便所維持管理事業	2,069	975	1,094	A	現行どおり	
6	環境課	一般家庭ごみ減量化推進事業	32,975	30,240	2,735	A	現行どおり	
7	環境課	一般家庭ごみ収集事業	258,750	256,015	2,735	A	現行どおり	
8	環境課	死獣収集事業	5,421	3,780	1,641	A	現行どおり	
9	環境課	資源ごみ収集事業	187,031	185,390	1,641	A	現行どおり	
10	環境課	清掃分室維持管理事業	6,400	930	5,470	A	現行どおり	
11	環境課	粗大ごみ収集事業	32,551	30,910	1,641	A	現行どおり	
12	環境課	し尿処理事業	6,427	5,333	1,094	B	要改善	
13	環境課	4R推進事業	1,713	1,166	547	A	現行どおり	
14	環境課	雨水タンク購入助成事業	200	29	171	A	現行どおり	
15	環境課	小型家電リサイクル推進事業	1,360	266	1,094	A	現行どおり	
16	環境課	エコッキング事業	1,356	262	1,094	A	現行どおり	
17	環境課	エコハウス認定奨励金交付事業	771	600	171	A	現行どおり	
18	環境課	高効率エネルギーシステム設置助成事業	5,496	4,060	1,436	A	現行どおり	
19	環境課	ごみ減量機器購入助成事業	896	349	547	A	現行どおり	
20	環境課	自転車活用促進事業	5,132	4,414	718	A	現行どおり	
21	環境課	住宅用太陽光発電設置補助事業	4,666	3,230	1,436	A	現行どおり	
22	環境課	新エネルギー導入促進事業	3,625	2,531	1,094	A	現行どおり	
23	環境課	不法投棄防止啓発事業	1,994	900	1,094	A	現行どおり	
24	環境課	緑のカーテン推進事業	1,432	714	718	A	現行どおり	
25	環境課	有価物集団回収助成事業	21,225	19,584	1,641	A	現行どおり	
26	環境課	レジ袋削減推進事業	1,173	79	1,094	A	現行どおり	
27	環境課	剪定枝活用事業	2,423	1,705	718	A	現行どおり	
28	環境課	環境体験学習推進事業(環境課)	826	108	718	A	現行どおり	
29	環境課	出前講座	3,829	0	3,829	A	現行どおり	
30								
合計			611,848	557,215	54,633			
事務事業の方向性	A 現行どおり	28 本	B 要改善	1 本	C 縮小	0 本	D 休止・廃止	0 本

## 施策評価シート

施策の概要 (PLAN)		担当部局長	都市政策部長
総合計画の政策名	コンパクトで居心地のよいまちづくり		
基本施策名	5-4 道路・交通	取りまとめ	土木課
めざす姿	安全安心で快適に移動できるまち		
	平坦な地形を活かし、徒歩と自転車で誰もが安全、快適に移動できる道路網が整備されています。また、道路・橋梁等施設の維持管理が適切に行われており、交通事故件数も減少するなど安全なまちとなっています。		
施策の展開方向	①安全な道路空間の整備 ②都市計画道路の整備 ③道路・橋梁等の適切な維持・管理 ④ユニバーサルデザインの視点に立った道路のバリアフリー化の推進 ⑤交通安全対策の充実		

### 施策の成果指標と実績 (DO)

成果指標	項目	単位	総合計画記載 (現状値)	27年度	28年度	29年度	30年度	総合計画記載 31年度
			(市民満足度調査)					
①	市内の移動は徒歩や自転車で行う市民の割合	目標	%	—	—	(市民満足度調査)	—	70
		実績	%	68.6	—	—	66.7	—
②	市内の道路は、安全で快適に通行できるとする市民の割合	目標	%	—	—	(市民満足度調査)	—	57
		実績	%	55.4	—	—	57.8	—
③	バリアフリー道路の割合 (バリアフリー整備箇所数/計画整備箇所数)	目標	%	—	—	—	—	100
		実績	%	59.1	100	7.9		
④	年間の放置自転車撤去台数	目標	台	—	—	—	—	1,500
		実績	台	2,426	1,516	1,462		
⑤	年間の交通事故件数	目標	件	—	—	—	—	580
		実績	件	602	453	462		

施策内事業の集計	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	総コスト計	千円	192,300	187,895	101,567		
事業費	千円	142,813	135,284	65,428			
人件費	千円	49,487	52,611	36,139			

### 施策の成果について (CHECK)

成果	目標達成度合 (評価)	B 順調	理由	道路のバリアフリー整備計画は、新たに計画策定したため達成率は低いが、その他は総合計画に掲げる目標値を達成できていることから、左の評価とした。
	◆10月より、泉大津駅と松ノ浜駅の駅利用者向けに駐輪場を整備したことにより、放置される自転車が減少したため、撤去自転車台数が減少した。 ◆道路のバリアフリー整備計画(2009年度版)の施行が完了したため、新たに道路のバリアフリー整備計画(2016年度版)を策定し、施行を進めた。			
課題	◆一部の駐輪場を設置したことにより、放置自転車の撤去件数は減少したものの、大きく減少したものではない。駐輪場がすべて供用開始する際に放置自転車を減少させる取り組みが必要となる。 ◆自転車事故の割合が高まる中、免許制度の無い自転車利用者に対するルールの周知方法が課題である。			

### 今後の施策の方向性 (ACTION)

今後の施策の方向性	◆今後も道路のバリアフリー整備計画(2016年度版)をもとに、施行を進める。 ◆29年度4月にすべての駐輪場が供用開始となるため、指定管理者による民間のノウハウを活用した自転車の放置解消に向けて取り組む。 ◆セーフコミュニティの交通安全対策委員会などの関係団体との協働を深め、いろいろな角度から交通ルールの周知を検討しながら試行する。
-----------	---

# 事務事業評価結果一覧

総合計画の政策名		コンパクトで居心地のよいまちづくり						
基本施策名		5-4 道路・交通						
	担当課	事業名	総コスト (千円)	事業費 (千円)	人件費 (千円)	事務事業評価結果		
1	街路連立事業課	自転車ネットワーク整備事業	3,903	1,715	2,188	A	現行どおり	
2	街路連立事業課	泉大津駅西地区周辺整備事業	17,160	10,596	6,564	A	現行どおり	
3	土木課	細街路整備事業	2,352	1,258	1,094	D	休止・廃止	
4	土木課	道路・法定外公共物明示境界確定事業	5,454	86	5,368	A	現行どおり	
5	土木課	道路用地整備事業	4,388	1,653	2,735	A	現行どおり	
6	土木課	地籍調査整備事業	8,687	4,789	3,898	A	現行どおり	
7	土木課	交通安全施設整備事業	17,333	14,119	3,214	A	現行どおり	
8	土木課	福祉のまちづくり歩道改良事業	3,068	1,974	1,094	A	現行どおり	
9	土木課	放置自転車等対策事業	31,766	26,774	4,992	A	現行どおり	
10	土木課	交通安全教育・啓発事業	6,010	2,454	3,556	A	現行どおり	
11	土木課	めいわく駐車対策事業	1,446	10	1,436	A	現行どおり	
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
合計			101,567	65,428	36,139			
事務事業の方向性	A 現行どおり	10 本	B 要改善	0 本	C 縮小	0 本	D 休止・廃止	1 本



## 施策評価シート

施策の概要(PLAN)		担当部局長	都市政策部長
総合計画の政策名	コンパクトで居心地のよいまちづくり		
基本施策名	5-5 公園・緑地・河川	取りまとめ	環境課
めざす姿	人の集う公園・緑・水辺のあるまち		
	緑や水辺、公園を有効活用するために、市民のニーズに対応できる特色ある公園づくりが進んでいます。公園や緑地、河川は、地域の人々との協働による適切な維持管理のもと、多くの市民が集い、利用者同士の新たなコミュニティが生まれる場所となり、緑と笑顔のあふれるまちになっています。		
施策の展開方向	①地域の活動や外遊びの拠点となる公園づくり ②緑地の確保と親水空間の整備 ③市民による緑化推進活動の促進		

### 施策の成果指標と実績(DO)

		単位	総合計画記載 (現状値)	27年度	28年度	29年度	30年度	総合計画記載 31年度
成果指標	① 快適に利用でき楽しめる公園があると感じている市民の割合	目標	% (市民満足度調査)	—	—	(市民満足度調査)	—	60
		実績	%	53.3	—	—	56.1	—
	② 市民一人当たりの都市公園等面積	目標	m <sup>2</sup>	—	—	—	—	4
		実績	m <sup>2</sup>	2.95	3.04	3.07		
	③ 緑化活動を自主的に行っているボランティア協議会の数	目標	団体	—	—	—	—	4
		実績	団体	2	2	2		
	④	目標						
		実績						
	⑤	目標						
		実績						

施策内事業の集計		単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総コスト計		千円	140,491	241,914	167,032			
事業費		千円	115,258	221,160	142,758			
人件費		千円	25,233	20,754	24,274			

### 施策の成果について(CHECK)

成果	目標達成度合 (評価)	C 概ね順調	理由
成果			地域の意見を取り入れた公園づくりを進めており、より多くの市民が集う場となっていることから、左の評価とした。
課題			◆長寿命化計画に基づいた市内2公園について、ワークショップなどにより地域住民の意見を取り入れた公園づくりを実施することにより、利用者の増加が見られた。 ◆市内路線の植樹帯へ新たに植樹を行い、更なる緑地を確保することにより、緑あふれるまちづくりを行うことができた。 ◆緑化活動を行っているボランティア協議会が、日頃の活動に対して府知事賞を受賞するなど、地域の人々との協働による緑あふれるまちづくりに成果が見られた。
課題			◆国の交付金の内示率が低いこともあり、費用的な問題から公園づくりの進捗が遅れているため、国等へ要望を行っていく必要がある。 ◆みどり豊かなまちづくりを行ううえで、市民の緑化に対する意識向上を図る必要がある。 ◆緑化活動を行っているボランティア協議会が高齢化しており、加入促進に力を入れるとともに、助成内容について充実を図っていく必要がある。

### 今後の施策の方向性(ACTION)

今後の施策の方向性	◆理想とする市全体の公園づくりの計画策定を行い、特色ある公園づくりを進めていく。 ◆「緑地の保全及び緑化の推進に関する基本計画」について見直しを行い、緑あふれるまちづくりを進めていく。 ◆地域の自治会等に対して啓発を行い、協働による維持管理を更に進め、緑あふれるまちづくりを進めていく。
-----------	---

# 事務事業評価結果一覧

総合計画の政策名		コンパクトで居心地のよいまちづくり						
基本施策名		5-5 公園・緑地・河川						
	担当課	事業名	総コスト (千円)	事業費 (千円)	人件費 (千円)	事務事業評価結果		
1	環境課	プール維持管理事業	14,798	13,362	1,436	A	現行どおり	
2	環境課	プール施設整備事業	2,264	999	1,265	A	現行どおり	
3	環境課	公園維持管理事業	45,762	40,531	5,231	A	現行どおり	
4	環境課	公園施設整備事業	23,640	20,734	2,906	A	現行どおり	
5	環境課	みどり維持管理事業	75,136	63,854	11,282	A	現行どおり	
6	環境課	緑化推進事業	5,432	3,278	2,154	A	現行どおり	
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
合計			167,032	142,758	24,274			
事務事業の方向性	A 現行どおり	6 本	B 要改善	0 本	C 縮小	0 本	D 休止・廃止	0 本

## 施策評価シート

施策の概要 (PLAN)		担当部局長	都市政策部長
総合計画の政策名	コンパクトで居心地のよいまちづくり		
基本施策名	5-6 上下水道	取りまとめ	水道課
めざす姿	安定したライフラインの整ったまち		
	計画に基づいた、効率的な施設・管路の整備更新・耐震化と維持管理が行われています。水道水の安定供給と共に公共下水道の整備により衛生的な生活と水環境の保全、雨水対策も進んでおり、災害に強いライフラインが確立されたまちとなっています。		
施策の展開方向	①水道水の安定供給 ②災害対策の充実 ③上水道事業の健全経営の推進 ④公共下水道の汚水整備推進 ⑤公共下水道の雨水整備推進 ⑥水洗化の普及促進 ⑦下水道施設の機能維持・向上 ⑧下水道事業の経営健全化		

### 施策の成果指標と実績 (DO)

		単位	総合計画記載 (現状値)	27年度	28年度	29年度	30年度	総合計画記載 31年度
成果指標	① 水道の現状に満足している市民の割合	目標	% (市民満足度調査)	—	—	(市民満足度調査)	—	75
		実績	%	73.0	—	—	76.4	—
	② 下水道の現状に満足している市民の割合	目標	% (市民満足度調査)	—	—	(市民満足度調査)	—	74
		実績	%	71.9	—	—	74.7	—
	③ 下水道人口普及率 (汚水)	目標	%	—	—	—	—	97.0
		実績	%	95.4	96.6	96.8		
	④ 上水道 (耐震幹線ループ・重要施設路線) の耐震化率	目標	%	—	—	—	—	64.6
		実績	%	45.5	51.7	55.07		
	⑤ 下水道整備普及率 (雨水)	目標	%	—	—	—	—	40.0
		実績	%	35.6	35.8	36.4		

施策内事業の集計		単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総コスト計		千円	1,010,972	1,436,327	1,001,650			
事業費		千円	920,440	1,335,847	952,145			
人件費		千円	90,532	100,480	49,505			

### 施策の成果について (CHECK)

成果	目標達成度合 (評価)	B 順調	理由	配水管の耐震化率を現状値より3.4%向上させることができ、また、汚水普及率を現状値より0.2%、雨水普及率を0.6%それぞれ向上させることができたことから、左の評価とした。
	◆平成28年度は、配水管整備を2,472m施行し、そのうち耐震管の新設を451m、耐震ループ幹線の耐震化布設替えを862m、重要施設路線の耐震管敷設替を277m、計1,590mを耐震化できたことにより、上水道の耐震化率は55.07%となった。 ◆汚水・雨水整備等を計画的に施工でき、水洗化の啓発活動を行った結果、普及促進につながった。また、施設の更新事業を進め、健全度の向上に努めた。			
課題	◆防災拠点となる重要施設 (避難所等) に至る耐震管路は、耐震幹線ループ (格子状でつなぐことで複数の水道経路の確保) から直接分岐するため、口径150mm以上の配水管の耐震化・ループ化を先行し施行する必要がある。 ◆事業経営の健全度を維持・向上させながら、建設事業 (更新・整備) を計画通り進めるために、国からの交付金が確保できるかが課題となる。			

### 今後の施策の方向性 (ACTION)

今後の施策の方向性	◆現行の上水道耐震化計画終了後の、口径150mm未満の配水管耐震化計画策定に向けた事前調査を実施していく。 ◆交付金の確保に努め、施設の更新・整備を計画に従い実施する。水洗化の普及促進に努め、事業経営の健全度の維持・向上に努める。
-----------	--

# 事務事業評価結果一覧

総合計画の政策名		コンパクトで居心地のよいまちづくり						
基本施策名		5-6 上下水道						
	担当課	事業名	総コスト (千円)	事業費 (千円)	人件費 (千円)	事務事業評価結果		
1	水道課	検針・料金収納事業	76,187	69,725	6,462	A	現行どおり	
2	水道課	水道施設維持管理事業	83,700	73,854	9,846	A	現行どおり	
3	水道課	水道情報管理システム整備事業	4,978	1,935	3,043	A	現行どおり	
4	水道課	配水管維持事業	54,070	49,147	4,923	A	現行どおり	
5	水道課	配水管整備事業	273,362	261,875	11,487	A	現行どおり	
6	下水道課	水洗便所普及事業	3,653	2,559	1,094	A	現行どおり	
7	下水道課	管渠事業(北部処理区 整備事業)	276,530	269,350	7,180	A	現行どおり	
8	下水道課	ポンプ場更新事業	229,170	223,700	5,470	A	現行どおり	
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
合計			1,001,650	952,145	49,505			
事務事業の方向性	A 現行どおり	8 本	B 要改善	0 本	C 縮小	0 本	D 休止・廃止	0 本